

ご意見の内容及びご意見に対するご回答

意見提出元：株式会社エーアイコーポレーション

No	該当箇所	ご意見の内容	ご回答
1	スマートメーター通信ネットワークで使用されるソフトウェアについて	<p><意見内容></p> <p>スマートメーターの通信ソフトウェアとして、国際標準仕様『DLMS』を、「スマートメーター」「集約器(コンセントレーター)」「MDMS(検針データ管理システム)」の各ノード間の双方向通信に採用してはいかがでしょうか。</p> <p><理由></p> <p>各ノード間の相互接続性を国際標準仕様で確保することで、世界で採用実績豊富なDLMS対応製品(DLMS対応スマートメーター、DLMS対応コンセントレーター、DLMS対応MDMS)を容易に導入できるため、迅速にスマートグリッド環境を構築可能と考えます。(添付資料参照)</p> <p>－DLMSは、国際電気標準会議(IEC:International Electrotechnical Commission)の技術委員会TC13のワーキンググループWG14が、IEC62056の一連の標準への組み込みを推挙している仕様です。http://en.wikipedia.org/wiki/DLMS</p> <p>－DLMS User Associationに認証された製品は世界で200以上あります。 http://www.dlms.com/conformance/listofcompliantequipment/index.html</p> <p>－DLMS User Associationには、2012年3月24日現在240社が加盟し、日本企業では、大崎電気工業株式会社様、パナソニック株式会社様などがメンバーとなっています。 http://www.dlms.com/organization/listofmembers/index.html</p>	<p>データフォーマットや通信手順に関する現行仕様については、弊社の運用ニーズに特化したものとしておりましたが、様々なメーカーの新規参入の促進による中長期的なコストダウンの観点から、標準規格への準拠を志向して検討いたします。</p>